



地域支援センター みみらんど・會津

きこえやことばに心配のある
乳幼児・児童・生徒への支援を
行っています。

乳幼児教育相談

0歳児からの支援を行います。



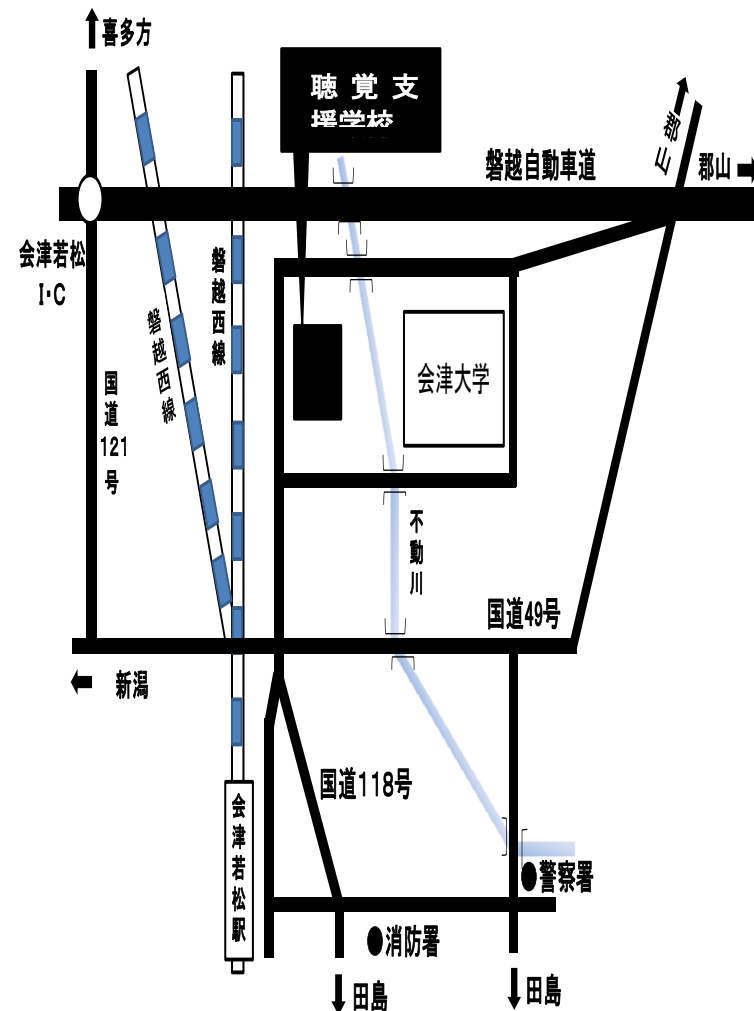
おやつを使って舌やお口の体操をしたり、
遊びを通してコミュニケーション力を育てる支援を行います。

就学後の教育相談

お子さんだけでなく、ご家族及び担当の先生を支援します。
・合理的配慮と一緒に考えます。
・難聴理解学習等の出前授業も行います。



合理的配慮の例：
テニスボールを机
や椅子の脚につけ
て騒音を減らす



地域支援センター 「みみらんど・會津」

〒965-0006

福島県会津若松市一箕町大字鶴賀字下柳原102

福島県立聴覚支援学校会津校内

TEL 0242-22-1286

FAX 0242-22-1286

E-mail fukushima-sd-aizu@fcs.ed.jp



ご存じですか？

きこえにくさのあるお子さんへの
合理的配慮について



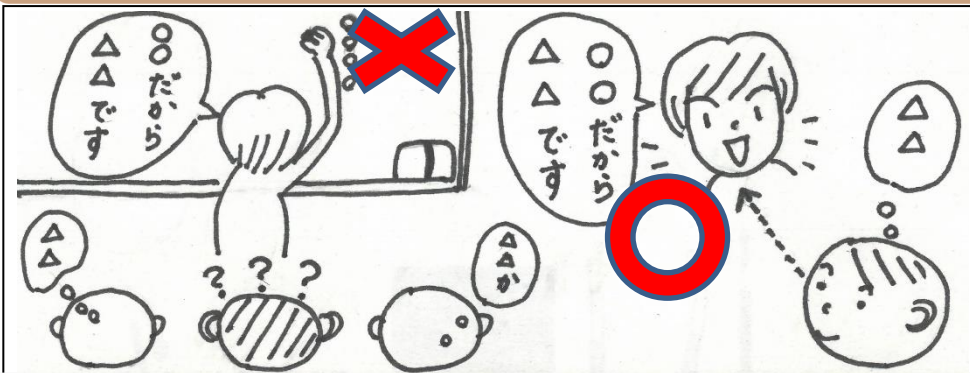
聴覚障がいやきこえにくさのあるお子さんにとっての
集団生活上のつまずき・困り感を知ることが、合理的
配慮につながります。

福島県立聴覚支援学校会津校

聞こえにくい=コミュニケーションの障がい



話し方による配慮



話し手は、口元をよく見えるようにします。例えば、黒板を向いて話したり、早口で話したり、声が小さかったり、歩きながら話したりすると、聞き取りにくくなります。

外からは見えにくい困り感を知ることが大切です。

周囲からはわかりにくい障がいであることから、一人だけで困難さを抱えてしまうことがあります。周囲の理解と協力が大きな支えとなります。



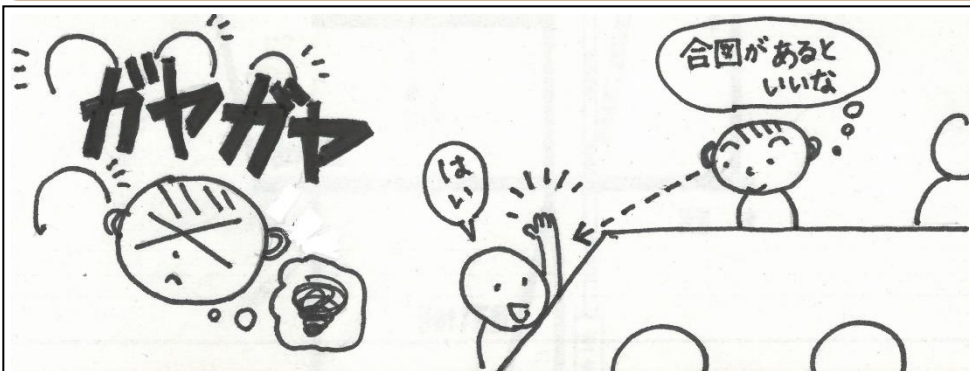
あなたなら
どんな配慮
を行いますか。

教室環境の配慮 ～補聴器や人工内耳を装着している場合～



ドアの開閉時に大きな音が出ないようにしたり、机や椅子は引きずらないようにしましょう。教室の窓にカーテンを引くだけでも音の反響が少なくなり、聞き取りやすくなります。

グループ学習での配慮



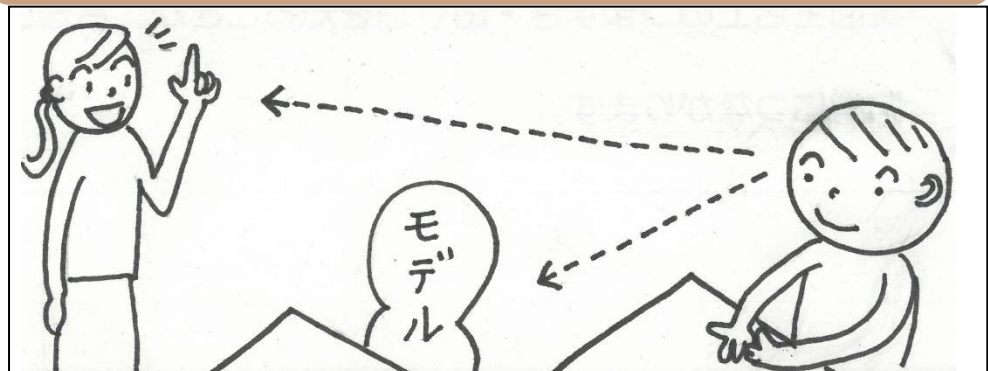
ギャギャしていると、聞き取りにくいです。話し手は挙手するようにして位置がわかるようにしましょう。また、話が突然変わるとわかりにくいので、キーワードなどポイントを示しましょう。

補聴援助システムの活用について ～補聴器や人工内耳を装着している場合～



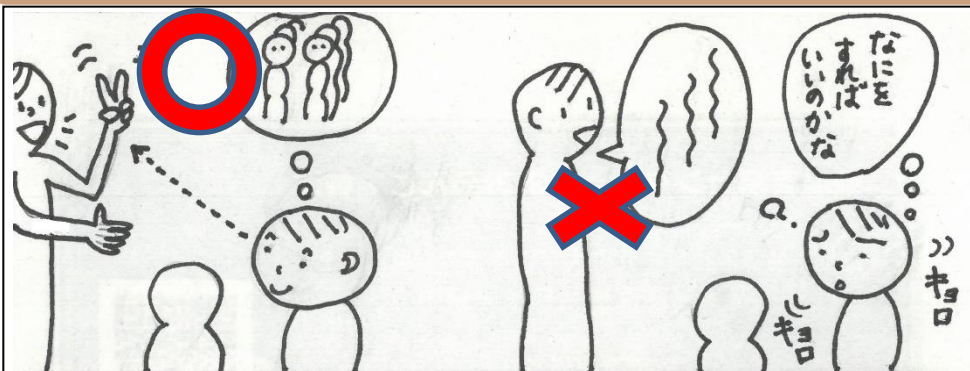
いろいろな補聴援助システムがあります。周囲の雑音をできるだけ排除して、聞きたい声をよりきれいに聞こえるようにします。音は鮮明になりますが、完全に聞こえるわけではないので、話し方の配慮は必要です。

座席の位置による配慮



園や学校では、先生の表情や指示が見やすい位置、具体的には話し手の口元が逆光にならない中央からやや窓際、前から2～3列目がよいでしょう。前席のお子さんを見本として活動することができるためです。

視覚的な手がかりによる配慮



文字や絵、身振りなど、見てわかる視覚的補助が重要です。また、聞くことと書くことは同時にはできません。書く時間や作業する時間を確保しましょう。

難聴理解のための出前授業や研修会について



難聴についての理解を深めるために、発達年齢に応じた出前授業、ニーズに応じた研修会を行います。お気軽にみみらんど・会津へお電話ください。 ☎0242-22-1286